

園だより

2020年11月号
2020年11月2日発行

おいしい記憶

すがすがしい秋。スポーツの秋、食欲の秋です。コロナの影響で散歩や公園などの屋外に出ることを長い間自粛していましたが、10月は散歩も増やし、幼児クラスを中心に、運動会や遠足も行うことができました。保護者の皆様からのアンケートでは「コロナ禍の中、運動会を開催してくださりありがとうございます」というご意見が多く、大変励まされました。引き続き、感染防止対策を取りながら、今しかできない経験を積んでいきたいと望んでいます。

11月はキリスト教行事の収穫感謝際があります。実りの秋、収穫を感謝して神様に礼拝を捧げ、例年ならば、持ち寄った果物を近隣でお世話になっている病院や警察、消防署に行き「ありがとうの気持ち」を届けていました。また、飾った野菜をつかって豚汁パーティをしていました。しかしながら、感染防止のために、今年は地域を訪問したり、一緒に食卓を囲み共に食することが難しい現実があります。「個食や孤食が進む」ことが心配です。

食は文化であり、日本の四季折々の伝統を伝える大切な機会でもあります。日本食は世界文化遺産にも登録されています。家庭では料理するママパパの好みと力量でメニューは偏りがちですが、保育園では、プロの栄養士と調理師が年齢に合わせ、アレルギーにも配慮して、安全で旬の食材をとり入れた栄養たっぷりの食事やおやつを提供しています。子ども達も（職員も！）バランスのとれた保育園の食事で、心も満たされ身体の健康を保っているのです。



時々、ひよこ組の食事を見に行きますが、ちっちゃくても食欲旺盛！！ちいさな手で食材を握り、こぼしながらも自分で一生懸命に食べる姿に生きるエネルギーを感じます。『食べることは生きること』です。お家ではできるだけ、一緒に食卓を囲んで「美味しいね～」と声をかけてくださいね。温かでおいしい食の記憶は、愛され大切にされた幸せな記憶となりますから。

園長 三幣典子